

Abstract of JP 61-242117 (A)

PURPOSE: To prevent the emphasis of noise component by dividing the input sound signals into plural bands for coding after normalization, then turning those coded signals into the coding signals after correcting by a correction level. CONSTITUTION: The input sound signals are divided into plural bands e.g., low, medium and high bands by a band dividing filter 1 and applied to normalizing parts 2a-2c for normalization. These normalized signals are coded by coders 3a-3c for each band and applied to correcting parts 4a-4c. A control part 5 decides the frequency characteristics of the input sound signals from the peak detecting values of the parts 2a-2c and controls the normalizing levels of the parts 2a-2c as well as the correcting levels of the parts 4a-4c for each band. Then the signals underwent the level corrections are delivered as the coding signals corresponding to each band or multiplexed by a multiplexer 6 for output. This prevents the increase of the noise level.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-242117

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>  
H 03 M 1/12

識別記号 庁内整理番号  
6832-5J

⑭ 公開 昭和61年(1986)10月28日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

⑮ 発明の名称 ブロックフローティング方式

⑯ 特 願 昭60-82264

⑰ 出 願 昭60(1985)4月19日

⑱ 発 明 者	谷 口 智 彦	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑱ 発 明 者	富 田 吉 弘	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑱ 発 明 者	佐 藤 一 美	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑱ 発 明 者	海 上 重 之	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑲ 出 願 人	富士通株式会社	川崎市中原区上小田中1015番地	
⑳ 代 理 人	弁理士 柏谷 昭司	外1名	

# 明 細 書

1 発明の名称 ブロックフローティング方式

2 特許請求の範囲

入力音声信号を複数の帯域に分割する帯域分割フィルタ(1)と、

分割された帯域の信号を正規化する正規化部(2a, 2b, 2c)と、

該正規化部(2a, 2b, 2c)の出力信号を符号化する符号器(3a, 3b, 3c)と、

該符号器(3a, 3b, 3c)の出力信号を補正する補正部(4a, 4b, 4c)と、

前記正規化部(2a, 2b, 2c)の正規化レベルと前記補正部(4a, 4b, 4c)の補正レベルを制御する制御部(5)とを備え、

前記入力音声信号の周波数特性に対応して前記正規化部(2a, 2b, 2c)の正規化レベルと前記補正部(4a, 4b, 4c)の補正レベルとを分割帯域対応に制御すること

を特徴とするブロックフローティング方式。

## 3 発明の詳細な説明

(概要)

入力音声信号を低域、中域、高域等の複数の帯域に分割し、この分割された帯域対応の信号を正規化して符号化し、符号化された信号を正規化レベルに対して逆となる補正レベルで補正して符号化信号とし、無音時や無声子音等の入力音声信号の周波数特性に従って、帯域対応にブロックフローティング処理を制御して、ノイズ成分が強調されることを防止し、又無声子音等の特性を向上させるものである。

(産業上の利用分野)

本発明は、音声信号を符号化する場合に、信号処理過程で演算結果のオーバーフローやアンダフローが生じないように、適当な信号レベルにシフトさせるブロックフローティング方式に関するものである。

ダイナミックレンジの広い音声信号を処理対象とする高効率の音声符号器に於いては、有限語長精度で固定小数点演算を行う信号処理プロセッサ